

障発0204第2号
平成28年2月4日

都道府県知事
各 指定都市市長 殿
中核市市長

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長
(公 印 省 略)

「身体障害者手帳に係る交付手続き及び医師の指定に関する取扱いについて」
の一部改正について

今般、「身体障害者手帳に係る交付手続き及び医師の指定に関する取扱いについて」（平成21年12月24日障発1224第3号厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知）の第1の1の（2）で定める様式第1について、別添のとおり改正し、平成28年4月1日から適用することとしたので、留意の上、その取扱いに遺漏なきようお願いしたい。

本通知は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第245条の4第1項の規定に基づく技術的助言（ガイドライン）として位置づけられるものである。

新

様式第1 身体障害者診断書・意見書（ 障害用）

呼吸器の機能障害の状況及び所見
(該当するものを○でかこむこと)

1 身体計測

身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。

イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。

ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。

エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。

オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。

3 胸部エックス線写真所見（ 年 月 日）

ア 胸 膜 癒 着 （無・軽度・中等度・高度）

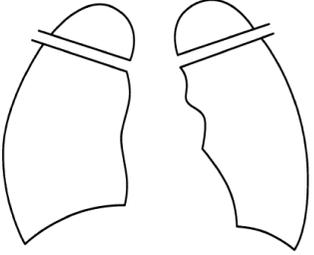
イ 気 腫 化 （無・軽度・中等度・高度）

ウ 線 維 化 （無・軽度・中等度・高度）

エ 不 透 明 肺 （無・軽度・中等度・高度）

オ 胸 郭 変 形 （無・軽度・中等度・高度）

カ 心・縦隔の変形 （無・軽度・中等度・高度）



4 換気機能（ 年 月 日）

ア 予測肺活量 L (実測肺活量 L)

イ 1 秒 量 L (実測努力肺活量 L)

ウ 予測肺活量1秒率 $\frac{\text{イ}}{\text{ア}} \times 100$ %

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

旧

様式第1 身体障害者診断書・意見書（ 障害用）

呼吸器の機能障害の状況及び所見
(該当するものを○でかこむこと)

1 身体計測

身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

ア 階段を人並みの速さでのぼれないが、ゆっくりならのぼれる。

イ 階段をゆっくりでものぼれないが、途中休みながらのぼれる。

ウ 人並みの速さで歩くと息苦しくなるが、ゆっくりなら歩ける。

エ ゆっくりでも少し歩くと息切れがする。

オ 息苦しくて身のまわりのこともできない。

3 胸部エックス線写真所見（ 年 月 日）

ア 胸 膜 癒 着 （無・軽度・中等度・高度）

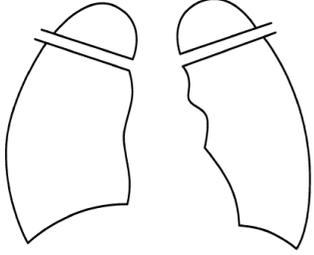
イ 気 腫 化 （無・軽度・中等度・高度）

ウ 線 維 化 （無・軽度・中等度・高度）

エ 不 透 明 肺 （無・軽度・中等度・高度）

オ 胸 郭 変 形 （無・軽度・中等度・高度）

カ 心・縦隔の変形 （無・軽度・中等度・高度）



4 換気機能（ 年 月 日）

ア 予測肺活量 ml

イ 1 秒 量 ml

ウ 予測肺活量1秒率 $\frac{\text{イ}}{\text{ア}} \times 100$ %

(ア・ウについては、次のノモグラムを使用すること。)

肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長 (cm)} - 0.023 \times \text{年齢 (歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長 (cm)} - 0.018 \times \text{年齢 (歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

5 動脈血ガス (年 月 日)

ア O_2 分圧 : . Torr

イ CO_2 分圧 : . Torr

ウ pH : .

エ 採血より分析までに時間を要した場合 時間 分

オ 耳朶血を用いた場合 : []

6 その他の臨床所見

(削除)

(新規)

5 動脈血ガス (年 月 日)

ア O_2 分圧 : . Torr

イ CO_2 分圧 : . Torr

ウ pH : .

エ 採血より分析までに時間を要した場合 時間 分

オ 耳朶血を用いた場合 : []

6 その他の臨床所見

ノモグラムの使い方

1 (A)と(C)から、(B)上にBaldwinの予測式による予測肺活量が得られる。

(B)と(D)とから(E)上に予測肺活量に対する1秒率が得られる。

2 (D)を1秒量の代りに実測肺活量とすれば、(B)と(D)とから(E)上にパーセント肺活量が得られる。

3 (B)に実測肺活量を代入すれば、(B)と(D)とから(E)上に通常の1秒率が得られる。

(削除)

